

医療的ケア児の 教育支援等を問う

答 受け入れの際は教育活動が十分に行えるような環境整備を確保することが重要な課題



浦崎 みゆき 議員

問 本町において、障がいを持つ本人や保護者が希望すれば小学校や中学校において受け入れることは可能か。

教育部長 本町の公立小中学校では、本人、保護者が希望すれば入学は可能となる。

問 直ちに受け入れられるか。

教育部長 事前に教育委員会、学校また医療機関、医師との連携が必要で安全面が確保できた時に受け入れられる。

問 家族に対する支援の実績や情報はどうか。

民生部長 日中一時支援事業があり利用者数は増えている。

る。障がい福祉計画の中で医療的ケア児支援も含まれており、しっかりと対応していきたい。

外出時「私が手伝ってほしい事を示す、ヘルプカード」の普及を

問 外見では判らない妊婦や聴覚・視力障がいまたは内部に障がいをもつ方や高齢者の方などがいる。手助けしてほしい内容が書き込まれたカードをすぐに取り出せて、助けを求めるヘルプカードの見解を問う。

民生部長 災害時の緊急連絡先や必要な支援内容を周囲に

伝える手段として意義があり、導入に向けて前向きに取り組んでいきたい。



▲ヘルプカードに記載されているマーク

ペットの災害対策はどうなっているか

問 ペットの災害対策ガイドライン改訂に伴う本町の対策はどうなっているか。

総務部長 飼い主による自助が明記され、同行避難が避難

所でのペットとの同居を意味するものではないことが明確となった。町の地域防災計画にもすでに明記されている。広域的な支援体制の対策を検討する。

問 町民への周知の方法はどう行うか。

総務部長 5月に狂犬病の予防接種があり、啓発活動として一番のタイミングと捉え、環境省からの「ペットを守ろう」というパンフレット配布を考えている。



▲狂犬病注射の際、周知する